



press release

宮城でのアース・プロジェクト Robert Smithson without Robert Smithson

ロバート・スミッソン ウィズアウト ロバート・スミッソン

アート・ユーザー・カンファレンス

| 開館期間：2015年4月18日(土) - 2015年11月22日(日) |

| 開館時間：11:00 ~ 17:00 | 休館日：水・木 | 入場料金：一般700円(未成年は無料) |

風の沢ミュージアム
Kazenosawa Museum of Contemporary Art

開催にあたって

真のフィクションは偽の現実を根絶やしにする (ロバート・スミッソン「鏡のユカタン旅行記」より)

「知識を得るプロセスとは、知らなかったことを知るプロセスではなくて、未分化だったことが分化していくプロセスだと考えることが出来る。精神が成長するに従って世界の概念は粉々に崩壊していく。大地と同じように精神もまた崩壊のプロセスの中にあるとロバート・スミッソンは考えていた。そして本人が生きているか死んでいるかに関わらず、「ロバート・スミッソン」もまた崩壊のプロセスにある。スミッソンの作品は見られるたびにひび割れを増やし、そのテキストは読まれるたびにひび割れてゆく。(AUC)」

アート・ユーザー・カンファレンス(AUC)は、既存の作者、鑑賞者、批評家、キュレーターなどとは異なる在り方として、「ユーザー」と名乗る組織です。彼らの『宮城でのアース・プロジェクト -Robert Smithson without Robert Smithson-』つまり“スミッソンなしのスミッソン”プロジェクトは、この時代の宮城県の栗駒の土地でスミッソンが制作したならば、この作品を制作したであろうという、スミッソンの居ない世界でスミッソンが活動する取り組みです。

AUCは「公共性あるいは芸術という檻に閉じ込められたそれを救い出す」と言います。“客観的な”スミッソン像と、“客観的な”スミッソンの作品像を守るために抑圧された領域にAUCは踏み込みます。AUCは長年に渡ってスミッソンの研究を続けてきました。その科学的な研究を土台にして、スミッソンの行動を導き出します。今回の制作は単に恣意的な想像や解釈ではありません。科学的な知見に基づいた仮想世界、いわばSF(サイエンス・フィクション)の舞台を実現する作業と言えます。

スミッソンの没後、日本で制作された初めてのスミッソンの新作は、意識が地球から分化していくプロセスを元に作られた池、藁葺き屋根が美しい築200年を超える日本様式の建築と出会ったスミッソンの痕跡。作者のあり方さえ崩壊させていくAUCが制作するスミッソンの作品群を体験してください。

ユミソン(風ノ沢ミュージアム ディレクター)

本展の見どころ

ロバート・スミッソンを公共の抑圧から救い出すAUC

橋本聡、松井勝正らが中心となって結成したグループ『アート・ユーザー・カンファレンス(AUC)』による展覧会。彼らが今回扱ったのは、アメリカのニュージャージー出身の現代美術家ロバート・スミッソン。アース・ワークの黎明期に《スパイラル・ジェティ》等を制作し、後のアーティストたちに多大な影響を与えた人物です。35歳の若さで亡くなった彼が残した作品は決して多くはありませんが、アース・ワークという土木工事のような規模の大きな作品を手がけながら、理論家として評論や論文も書き残しました。彼の活動は、それまでの芸術や文化の概念に根本的な見直しをせまるものです。AUCが制作した日本で初めてのロバート・スミッソンの新作を、過去から続く現在の概念と照らしあわせてご覧ください。

SF(サイエンス・フィクション)から生まれた巨大な池

2014年の夏、自然豊かな風の沢ミュージアムの里山の木や土は数ヶ月かけて工事用のショベルカーで切り崩されました。整形された土地に水を引き、現れた巨大な池。それはこの土地で採取された微生物“鞭毛虫”と同じ形です。AUCは「冒険されるべき未開の領域として“未分化なもの”という概念がある」と言います。巨大な池を体験している時、私たちは顕微鏡の中の鞭毛虫を見ることができません。しかし本当は見ているのではなくて水の濁った色として鞭毛虫を見ている。それは池から鞭毛虫を分化できていない状態です。私たちは“全てを見ている”。それは未分化の状態である。彼らの池のアース・ワークはそこから始まりました。

展覧会概要

展覧会名：宮城でのアース・プロジェクト

-Robert Smithson without Robert Smithson-

団体名：アート・ユーザー・カンファレンス

開館期間：2015年4月18日(土) - 11月22日(日)

開館時間：11:00 ~ 17:00* / 休館日：水・木

入場料金：一般700円** / 駐車場：約20台

主催：風の沢ミュージアム / 共催：NPO 帰園田居創生機構

後援：栗原市、栗原市教育委員会、河北新報社

協力：大西興業、浅野花卉

*10,11月は16時まで **未成年者無料、団体(20名以上)は600円

関連プログラム

オープニングレセプション

4月19日(日) 11時~14時、参加費無料

橋本聡、松井勝正らよるレクチャー

4月18、19日 14時~、および8月中旬予定。
時間や詳細はお問い合わせください。

その他

関連イベント等は、ウェブサイトに随時掲載致します。

交通案内

JR 東北新幹線くりこま高原駅よりお車で約30分
東北自動車道IC、築館または若柳金成より下車約25分

お問い合わせ

〒987-2302 宮城県栗原市一迫片子沢外の沢 11

e-mail: contact@kazenosawa.jp

tel: 0228-52-2811/080-5034-1588

fax0228-52-2811

広報画像

1.2. 《ダグ・スラント Dug Slant》

3. 《大地を罰する Punishing Earth》, 橋本聡パフォーマンス

4. 《ソーラー・システム The Solar System》

5. 《片子沢の鼻 Katagosawa Nose》

6.7. 風の沢ミュージアム外観

* 広報画像をご希望の方は、e-mail または FAX にてお問い合わせください。



1



2



3



4



6



7



5